

がくどうほいく ふなばし

No.5 市連協だより

2004.11.24(水)発行

船橋市学童保育連絡協議会

(住所) 船橋市南本町31-5

(Tel/Fax) 047-433-9266

(ホームページ) homepage2.nifty.com/fghrk/

感動と元気をもたらしてきた

全国学童保育研究集会に行ってきました!

第39回全国学童保育研究集会が大阪で開催され、

船橋学童連協からも8名が参加しました。

参加した島津副会長が集会の様子を報告します。

大阪で2004年10月23、24日に開催された第39回全国学童保育研究集会に参加してきました。

会場への途中、駅、道脇に交差点にと黄色のスタッフジャンパーで道案内のお出迎え、すごく多くの人に関わっているな、意気込みが違くと直感しました。

全体会の会場に着くと、それはそれはすごい人、大学の入口からホールの1階、2階とも人でごった返していました。

300人のけん玉に圧倒され

全体会が始まると、派手な衣装の司会が登場、漫才のような掛け合いで、いざオープニング。

河内音頭が流れ出し、踊り子も登場、いやー大阪やなと思っていたら、ステージに300人ぐらいの子どもたちがあがっていて、忍たま乱太郎の主題歌「勇気100%」の曲と同時に300人が「けん玉」を始め、これは

これはすごい迫力で、とりはだものの感動でした。変則もしかめが終わると、さらに「ひょっこりひょうたん島」もフルコーラスのけん玉披露で大阪のパワーはすごいとさらに感動しました。

開会挨拶は、大阪府知事の祝辞、議員の挨拶など大阪府全体が歓迎ムードでとてもうれしく思い、うらやましくも思えました。

「保護者と指導員が力を合わせ学童保育を発展させましょう」と全国学童保育連絡協議会会長の基調報告ののち、特別報告では我々船橋の宮本放課後ルーム父母会の秋元さんが全国の皆さんを前に「公設公営になったの父母会づくり」のお話がありました。

堂々とした話しぶりで、内容も良くとてもすばらしいものでした。

指導員からの特別報告は、「わたしの背中を押してくれた12人の「ひと言」」として、駆け出しの指導員に対する子どもの「ひと言」がその人の人生を決めてしまうこともあるのだなと感動してしまいました。

笑顔あふれる社会へできることを

記念公演では、『世界がもし100人の村だったら』のベストセラー作家の池田香代子さんから「子どもたちの笑顔あふれる社会に」（「100人村」と「日本国憲法」から考えたこと）の話の中で、ある老人は「いまの日本は戦時中の雰囲気似ている」と言いましたとの発言に、どっきりさせられました。

「いつのまにか日本はこんなとこまで来てしまったのか」と黙っている間に徐々にそれが当たり前のようになっている恐怖を再認識する必要があるのではないのでしょうか。

こんな世の中で自分に出来ることは何かを考え、勇気を持って行動してみてください。「私にもできること」は「私にしかできないこと」なのですから。

話し合いから解決の糸口が

感動を胸に、次の日の分科会、「学童保育の大規模化と運動の課題」について参加し、各地の現状、課題などを多く聞いてきました。

分科会では、各地の大規模化への対応の話聞き、民設民営と公設民営の違いがあるものの、それぞれの悩み、苦慮しながらの対応など問題はつきないことばかり、徹底した話し合いが理解と到達点を見いだしていくのかなと感じるところです。

特に、東神奈川などは家賃が月22万円で62㎡のスペースを維持するには、50人以上の学童が在籍しないと運営出来ないなど、一人あたりのスペースよりも運営を存続させる事が優先されるような事もあり、分割する場合も、1～3年生までの人数を考慮しないと補助金にも影響するなどの問題点、また、新規開設ともなれば開設資金が300万円位かかるなどの資金面での問題点をどうクリアしていくかが焦点となったようです。

さらに子どもが増えた場合や全児童対策事業に押されてくる可能性も非常に高く、今後の運動をどうしていくべきか、考えどころとのことでした。

全国の経験に学んで

私たち船橋市では、今のところ公設公営ですが、ひとつ間違えばどうなるかという危機感を持たざるをえません。しかし私たちは、今ある放課後ルームをいかにより良いものにしていくか、また、子どもたちが安全で安心して生活できる場としていくかが今後の課題であると考えています。

今回の全国学童保育研究集会を通じて、全国でこれだけの保護者、指導員が子どもたちの事を一生懸命に考えているのだなと思うと我々ももっともっとがんばらなければいけないなと強く思うところです。

今回の全国学童保育研究集会は、船橋からは保護者、指導員併せて8名の参加、全体では5,600名を超える参加者となりました。

来年は、神奈川県で開催されますので、是非皆様も参加してみてください。きっと全国のパワーに触れ、元気になるに間違いなし！

船橋市学童保育連絡協議会 副会長 島津光典

ほのぼの保育報告

キャンプで楽しい思い出作り

～カレーライスに森のスタンプラリー 八栄ルーム父母会～

今年の親睦会は9月25日・26日の1泊2日で船橋青少年キャンプ場へ行ってきました。参加人数は日帰り組が5世帯14名、泊まり組が10世帯31名でした。楽しかった思い出のいくつかを紹介します。

森のレストラン・・・お昼ごはんはカレーライス。子ども達は野菜切りなどのお手伝いです。心配だった「かまど」でのご飯炊きもお父さんのおかげで大成功。(尊敬のまなざしが集中!)少し肌寒いお天気のなかで食べる熱々のカレーは一番のごちそうでした。

森の探検隊・・・お父さんを隊長に、グループ毎に森の中でスタンプラリーをしました。「森の仲間探し」のポイントではみんな夢中でどんぐりや葉っぱを集めました。タイムを計っていたので、最後に猛ダッシュでゴールするグループもいました。

森の中の家・・・キャンプに近い「さざんかの家」という船橋市の研修施設に泊まりました。古い民家で「田舎のおばあちゃんの家」といったおもむきがあり、広～い畳の部屋に子ども達は大喜びでした。テレビもゲームも今日は無し。友達とビーチボールで遊んだり、工作でストローとんぼを作ったり。夜は仲良く枕を並べて眠りました。

<参加者の声>

カレーがおいしかった。話したことのない人と料理や手伝いを通じて自然に話しかできて楽しかった。友達みんなと泊まるのは子供にとって初めてで、良い経験になった。